

表　中国人民銀行が発表した10項目の包括的金融政策

1	預金準備率を0.5ポイント引き下げ、市場に約1兆元の長期流動性を供給する。
2	預金準備制度を改善し、自動車金融会社・金融リース会社の預金準備率を現在の5％から0％に段階的に引き下げる。
3	政策金利、すなわち公開市場の7日物リバースレポ金利を現在の1.5％から1.4％に0.1ポイント引き下げること、ローンプライムレート（LPR）を約0.1ポイント引き下げる効果がある見通し。
4	次の項目を含む構造的金融政策ツールにおける金利を0.25ポイント引き下げる。 ・各種特定項目の構造的ツールの金利と農業・零細企業向けリファイナンス金利を、いずれも現在の1.75％から1.50％に引き下げる（これらは中央銀行による商業銀行へのリファイナンス金利を指す）。 ・担保補充貸出（PSL、Pledged Supplementary Lending）金利を現在の2.25％から2.00％に引き下げる（担保補充貸出は中央銀行が政策銀行に資金を提供するためのツールの1つ）。
5	個人住宅積立金ローン金利を0.25ポイント引き下げ、期間5年以上の1件目の同ローン金利を2.85％から2.60％に引き下げる。その他の期間の金利も同様に調整する。
6	科学技術イノベーションと技術革新を使途とするリファイナンスの極度額を現在の5,000億元から3,000億元増の8,000億元に引き上げ、「両新」政策（大規模設備更新と消費財買い替え政策）の実施を支援する。
7	商業銀行がサービス消費と養老関連産業に対する貸出支援を強化するよう誘導するため、5,000億元の「サービス消費・養老リファイナンスファシリティ」を新設する。
8	農業・零細企業向けリファイナンス極度額を3,000億元引き上げ、リファイナンス金利引き下げ政策との相乗効果を発揮し、農業、零細企業、民間企業への融資拡大を支援する。
9	総額8,000億元の、資本市場を支援するための2つの金融政策ツールを最適化する。 ・5,000億元の証券会社、ファンド、保険会社向けスワップ枠 ・3,000億元の株式買い戻しリファイナンス枠
10	科学技術イノベーション債券のリスク分担ツールを構築し、中央銀行が低コストのリファイナンス資金を提供し、科学技術イノベーション債券の購入が可能となるようにする。地方政府や関連専門機関などと協力し、共同担保など多様化した信用補完措置を通じ、債券における一部の違約による損失リスクを分担し、科学技術イノベーション企業や株式投資機構が、低コストな長期間の科学技術イノベーション債券を発行して資金調達できるよう支援する。

（出所）中国人民銀行